

富山赤十字病院第五次中長期経営計画（2024年度～2029年度）

2024年5月作成／2025年3月改訂／2026年 月改訂
／2027年 月改訂／2028年 月改訂／2029年 月改訂

	項 目			
<p>第五次中長期経営計画の重点目標</p> <p>第五次計画の中で当院が特に重点的に取り組むべき医療を以下のとおり定め、これを念頭に基本戦略を立案する。</p> <p>1 災害医療機能の充実 赤十字の使命である災害医療に備える。 また、新興感染症流行に対応できる病院の業務継続計画の策定を促進する。</p> <p>2 地域医療連携の強化 医療と介護の連携から地域内連携強化を図り、地域における多職種協働と、切れ目のない医療介護サービスを提供する。</p> <p>3 救急医療体制の基盤整備・強化 引き続き急性期病院として二次救急輪番病院を維持し、断らない医療体制をつくる。 迅速かつ適切な医療提供体制を整備する。</p> <p>4 高度医療の提供によるがん診療、血管内治療の充実 がん診療の充実をはかり、手術・化学療法・放射線治療及び緩和医療等の集学的治療体制を構築する。救急医療の強化の一つとして、血管内治療（心・脳）の充実を図り、新規に導入・整備予定の医療機器の有効活用</p> <p>5 BSC推進による目標達成 各部署でBSCを作成し、戦略を可視化する。 中長期経営計画、予算作成への導入。</p> <p>6 働き方改革 適切なタスクシフト・シェアを進め、働き続けられる職場環境を整備する。</p>	<p>基本戦略</p> <p>1 理念の継承・見直し</p> <p>(1) 理念の職員への浸透 当院の存在意義や理念を再確認し周知を図る</p> <p>(2) 理念の見直し 内外環境の変化に伴う理念の見直しを適時行う</p> <p>2 質の高い医療の提供</p> <p>(1) 医療に関する安全性の充実・推進</p> <p>①医療安全対策の充実</p> <ul style="list-style-type: none">院内研修の定期実施（教育、啓発）5S活動、チームステップス教育安全管理マニュアルの評価、修正と周知徹底医療事故防止対策（予防） <p>②院内感染対策の充実</p> <ul style="list-style-type: none">院内研修の定期実施（教育、啓発）感染防止マニュアルの評価、修正と周知徹底感染防止対策（予防）新興感染症への対応（教育・周知） <p>③チーム医療の充実</p> <ul style="list-style-type: none">多職種連携の強化 <p>④オンラインを活用した医療サービス提供</p> <ul style="list-style-type: none">遠隔診断補助システム（Join）の活用オンライン資格確認を利用した特定健診・薬剤情報及び救急時医療情報閲覧機能の有効活用	<p>⑤ネットワークセキュリティに関する職員向け研修会の開催と実施</p> <ul style="list-style-type: none">SNSなどを通じた個人情報の漏洩等に関する教育サイバーセキュリティ対策等における事業継続マニュアル（BCP）及び対策マニュアルの整備・随時見直し、当該BCPに基づく訓練の実施 <p>⑥病院施設・健診施設・臨床研修施設の各機能評価受審に向けての準備・対応チームの整備</p> <p>(2) 患者支援センターの充実</p> <p>①地域医療連携の強化・推進（予約減に対する対策）</p> <p>②ベッドコントロールの円滑化</p> <p>③入退院支援・療養支援（PFM業務）の強化</p> <p>④開業医向けにアピールしたい領域の情報提供</p> <p>(3) 救急医療の強化</p> <p>①二次救急体制の維持</p> <p>②断らない医療体制の構築</p> <ul style="list-style-type: none">救急体制の効率化・高度化の検討 <p>③救急専門医の招致・育成</p> <p>④日本救急医学会の専門医認定施設の認定取得</p> <p>⑤救急医療従事者養成のための教育・研修体制の充実</p> <p>⑥診断までのスムーズな体制の構築</p> <p>⑦検査体制の見直し、効率化</p> <p>⑧増加していく高齢患者への対応の検討</p>	<p>(4) 地域包括ケアに対応できる人材の育成と活用</p> <p>①認知症看護実践能力の向上</p> <p>②入退院支援・訪問看護の充実</p> <p>③特定行為に係る看護師の育成</p> <p>(5) 災害・救護医療の充実</p> <p>①災害拠点病院としての体制構築</p> <p>②大規模災害時における事業継続マニュアル（BCP）及び対策マニュアルの整備・随時見直し</p> <p>③感染症蔓延時における事業継続マニュアル（BCP）及び対策マニュアルの整備・随時見直し</p> <p>④受援マニュアルの整備</p> <p>⑤感染症蔓延・大規模災害時の救護訓練の実施</p> <p>⑥DMAT・日赤救護班の充実</p> <p>⑦大規模災害に対応した院内インフラの改善</p> <ul style="list-style-type: none">現段階での災害対応体制の検証 <p>(6) がん診療・血管内治療の充実</p> <p>①地域がん診療連携拠点病院認定の取得</p> <p>②手術、化学療法、放射線治療及び緩和医療等の集学的治療体制の構築</p> <p>③化学療法患者数の増加、入院適応症例の基準整備</p> <p>④放射線治療患者数の増加、放射線治療専門医の確保</p> <p>⑤HPを利用した当院のがん治療情報の公開</p> <p>⑥広角的な視点での患者への追加がん検査実施</p> <p>⑦脳血管内治療の充実（脳血管センターの活用）</p>	<p>⑧循環器疾患への対策（心血管内治療の充実）</p> <p>⑨妊孕性温存療法等提供体制の充実</p> <p>⑩がん患者などの社会的問題への対応</p> <p>⑪ダヴィンチ導入による更に高度で良質ながん治療の実現</p> <p>(7) 生活習慣病対策の推進</p> <p>①糖尿病への対策</p> <ul style="list-style-type: none">特定健診、特定保健指導の普及、啓発 <p>②健診部門の充実</p> <ul style="list-style-type: none">特定健診、特定保健指導体制の充実健診項目の見直し、追加生活習慣改善の普及啓発がんの正しい知識、予防方法の普及啓発健診後の安心でわかりやすい診療ルートの説明 <p>(8) その他の医療</p> <p>①専門外来の充実</p> <p>②総合診療科の設置</p> <p>③臓器提供体制の充実</p> <p>④難病医療の対策</p>
	<p>3 健全経営体質の確立</p> <p>(1) 収入の確保</p> <p>①診療報酬請求の適正化（適正なDPCコーディング）</p> <p>②請求漏れ、査定減の防止（レセプト点検の精度向上）</p> <p>③DPC医療機関別係数の維持、増加</p> <p>④急性期一般入院料算定の継続</p> <ul style="list-style-type: none">重症度、医療・看護必要度の維持 <p>⑤急性期充実体制加算の取得維持</p> <p>⑥病床利用率の向上</p> <ul style="list-style-type: none">新入院・予定入院の増加平均在院日数の短縮、退院調整の円滑化入院期間Ⅱ超退院の改善 <p>⑦DPCデータ分析に基づく経営戦略の構築</p> <p>⑧未収金の発生防止と早期回収</p> <p>⑨高度医療機器の稼働率向上</p>	<p>(2) 収支改善のための支出統制</p> <p>①購買業務の強化</p> <ul style="list-style-type: none">在庫管理の徹底、後発品医薬品の使用促進赤十字グループメリットの活用による費用削減計画（購買情報、研修）適切な価格交渉体制の整備、コンサルティング会社導入による診療材料費の削減 <p>②省エネルギー対策</p> <p>③DHC更新への対応検討</p> <p>(3) 人材確保と育成</p> <p>①医療従事者の安定確保（医師、臨床研修医、看護師、薬剤師、放射線技師、検査技師、臨床工学技士など）</p> <p>②質の高い医療従事者の育成</p> <ul style="list-style-type: none">専門医、専門・認定看護師の育成病院の強みとなる医師の招聘健康生活支援・幼児安全法指導員の育成と派遣 <p>③キャリア開発ラダーの活用による職員の育成</p> <p>④新規導入機器を活用できる人材の登用と後任教育</p>	<p>⑤働きやすい職場環境の整備（ワークライフバランス推進）</p> <ul style="list-style-type: none">働き方改革に伴う業務改善タスクシフト・シェアの推進医療従事者の負担軽減の促進医師クラークの活用による医師業務の負担軽減・円滑化 <p>⑥職員の資格取得に係る研修費等の助成制度の利用促進</p> <p>(4) 患者サービスの向上</p> <p>①職員のホスピタリティ（接遇スキル）の醸成</p> <p>②患者満足度調査の継続</p> <p>③待ち時間の改善</p> <ul style="list-style-type: none">更なる逆紹介の推進 <p>④アメニティの充実</p> <ul style="list-style-type: none">個室の環境整備・老朽化した院内設備の改修 <p>⑤新ホームページを活用した積極的な情報発信</p> <p>⑥病院パンフレット、院外報の充実（やすらぎ、えん、かがやき）</p> <p>⑦患者からの投書、職員意見聴取</p> <p>⑧公開講座等新たな情報提供手段の構築</p> <p>⑨報道機関への積極的な情報提供</p> <p>⑩患者が安心して来院できる感染対策</p>	<p>(5) 医療機器の整備と有効活用</p> <p>①診療方針に対応した高額医療機器の計画的整備</p> <ul style="list-style-type: none">BSCと連動した機器の整備 <p>②適正な予約管理に基づく院内外での有効活用</p> <ul style="list-style-type: none">医療機器稼働状況調査と必要機器の検討 <p>③手術支援ロボットの利用促進</p> <p>(6) 電子カルテの改善</p> <p>①システムの改善、容易なマスタ管理</p> <p>②医師と他職種との適切な役割分担</p> <p>(7) 医療DXの推進</p> <p>①医療DX等のIT資産の活用を円滑に行うための体制整備・随時見直し</p> <ul style="list-style-type: none">国等が提供する電子カルテ情報共有サービスの運用開始に向けたシステム改修生成AIの導入 <p>②医療DX導入に向けての業務プロセスの可視化</p> <ul style="list-style-type: none">RPAの導入 <p>③中長期的な医療DX戦略（計画）の策定</p> <p>④医療DXに精通した人材の確保・育成（実践や研修受講）</p>